

・地域行事の保存・継承(祭礼や芸能を文化財指定へ)

郷土芸能保存協会への加盟を促し、文化庁の予算などを活用して支援していくなど、地域の歴史や文化を絶やさないよう、具体的な取り組みを求めました。また、地域に伝わるお祭り等は市内にいくつもあり、例えば、藤沢市では「江の島天王祭」を無形民俗文化財に指定されていますが、同じ日に行われる「小動神社天王祭」は鎌倉市では指定されていません。郷土芸能保存協会に加盟している団体に関連する祭礼や芸能から文化財指定を進めていくべきと議論しました。

人から人へ伝えられてきた郷土芸能は一度失われてしまったら二度と取り戻せませんので、スピード感を持って取り組む必要があります。



学びの多様化学校(※)を設置

令和7年4月から学びの多様化学校(不登校特例校)として、新たに鎌倉市立由比ガ浜中学校(仮称)を設置するため、必要な規定の整備を行いました。

(※)文部科学省の指定のもと、不登校の生徒に配慮した特別の教育課程を実施することができる学校。

【概要】

一般の中学校より授業時数を減らし自分のペースで学べる柔軟な教育課程を編成
由比ガ浜駅付近に校舎を建設
定員は30名(各学年10名)程度
デリバリー式給食を提供
学区は市内全域



小型二次電池の収集及び資源化

これまで、家庭から排出されるリチウムイオン電池などの小型二次電池等について、処理困難物として扱ってきましたが、乾電池の資源化を委託している事業者の施設において、資源化処理が可能であることが確認できたため、令和7年4月1日から「危険・有害ごみ」としてクリーンステーションへ出せることになりました。

【主な収集対象品目】

リチウムイオン電池、ニカド電池、ニッケル水素電池、モバイルバッテリー、ハンディファン、ワイヤレスイヤホン、加熱式たばこ本体、電動歯ブラシなど



ひなた新聞56号

鎌倉市議会議員

ひなた慎吾 活動レポート



1983年 6月 9日 生まれ (41歳)

モンタナ幼稚園→腰越小学校→腰越中学校→鎌倉高校
→日本大学卒業

IT 企業へ就職後、2013年 29歳で鎌倉市議会議員初当選。

2017年2期目の当選。2021年3期目の当選。腰越在住。

〈現在〉市民環境常任委員会副委員長、議会運営委員会委員長



12月定例会のご報告

●一般質問

「ごみ処理広域化と戸別収集について」

「地域行事の保存・継承に向けた取り組みについて」



一般質問録画



審査内容

●陳情審査

・陳情第39号 極楽寺二丁目「滞在型国際交流施設」についての陳情

総員賛成により採択(会派『夢みらい鎌倉』は賛成)

・陳情第40号 北鎌倉隧道のミステリー解決を議会に願う陳情

賛成少数により不採択(会派『夢みらい鎌倉』は反対)

・陳情第41号 深沢への新市庁舎整備を進めることを求める陳情

賛成多数により採択(会派『夢みらい鎌倉』は賛成)

・陳情第48号 「再審法改正を求める意見書」提出に関する陳情

総員賛成により採択(会派『夢みらい鎌倉』は賛成)

・陳情第50号 公の場において市民が正式な手続きを経て指摘した事項

について適切な対応を求める陳情

賛成少数により不採択(会派『夢みらい鎌倉』は反対)

・ごみ処理広域化実施計画と現状との乖離があり、見直しを求める

鎌倉市・逗子市・葉山町ごみ処理広域化実施計画は、令和2年度～令和11年度までの10年間の計画を、ごみ減量・資源化施策や各市町が担うごみ処理の役割分担などを記載しています。

2市1町で連携して取り組んでいくため、計画と乖離するには改善策を実施し、実効性の高くしなければなりません。安定したごみ処理体制の構築をしていくためにも計画の見直しを図り進めていくべきと議論しました。



Q 広域化実施計画について今年度は第I期(令和2～6年度)の最終年度であるが、本市のごみ減量・資源化策の進捗状況を伺う。

答弁 家庭系生ごみの資源化は、小規模処理施設の整備を予定していたが稼働できていない。一方、事業系ごみの資源化を前倒しで実施し、紙おむつ資源化策は実証実験を行った。

Q 生ごみ資源化施設の他に、中継施設整備も広域化実施計画の整備スケジュールに比べて遅れているなど、現状との乖離があるが、修正に向けた協議は行っているか伺う。

答弁 広域化検討協議会において、令和6年度中に第I期計画に関して各市町の進捗状況を踏まえ、中間評価を行う。

Q 見直すことがダメではなく、きちんと見直しをして、現状に合わせたものにしていくべきである。第II期(令和7～11年度)の取組を進めるに当たり、見直しを図る必要があると考えるが、市長の考えを伺う。

答弁 計画に掲げる減量・資源化策を早期実現ということを目指していくとともに本市において、名越の中継施設整備を着実に進めていくことが重要になると考えている。

・戸別収集実施に向けた取り組みと品目の拡大について

令和7年4月から市内一部地区を、令和8年4月から全市を対象に「燃やすごみ」の戸別収集を実施することになりました。これまで、課題の抽出や改善方法、実施に向けた取り組みを進めてまいりました。先行地区での実施が迫る中、改めて戸別収集について議論し、品目の拡大や安定かつ持続可能な収集体制の構築と市民サービス向上を要望しました。



Q 戸別収集の周知状況はいかがか。また、説明会等で出た意見や、それに伴う課題等の解決に向けてどのように対策しているか。

答弁 ごみの排出場所や排出容器に関する相談をいただくことが多く、排出場所については市職員が現地へ訪問し調整している。排出容器は広報かまくら等に参考例を掲載するとともに説明会等でサンプルを展示するなど取り組みを行っている。

Q 現状では「燃やすごみ」のみとしているが、先行地区での戸別収集実施でノウハウを蓄積し、令和8年度の全市実施の際に、容器包装プラスチックを戸別収集品目に追加できないか。

答弁 燃やすごみの戸別収集を混乱なく開始することが優先であるが、並行して容器包装プラスチックを戸別収集する場合の効率的なエリア分けや必要となる車両台数等の検討を進める。しかしながら、一定の準備期間が必要であり、令和8年度からの「燃やすごみ」の全市実施と同時開始は難しいと考えている。

腰越クリーン&ガーニング大作戦

腰越駅周辺・腰越海岸の清掃と
毎月第3土曜日 7時30分～8時30分(腰越駅集合) 意見交換会を行っております。



住所:鎌倉市腰越3-23-7 連絡先:0467-32-5889

ホームページ:<https://www.hinata-kamakura.com/>

メール:hinata.shingo@gmail.com フェイスブック:日向慎吾

X(旧ツイッター):@HinataShingo インスタグラム:@hinata.shingo



討議資料

